

# こくりにゆうだより



9月号

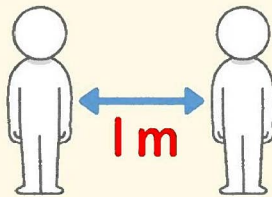
大阪府立桜塚高等学校 3年 菅野 なつ美

「洋風のものを使って日本の行事を描きたいなと思って描きました。」



マスクの着用

ソーシャルディスタンス



手洗い・消毒

つづけよう、感染予防と対策。



接触を減らす





／ 気になるおいしさ発見！ ／

# ひとくち、もらっていいですか？

第1回



「最近気になるエスニック料理店増えてるよね…？どんなお店なんだろう…？」という話からはじまった不定期連載企画。気になるお店に行ってみよう！ということで、豊中近辺のエスニック料理店で働いている方に直接お話を伺いました。第一回は豊中市役所向かいにあるインド・ネパール料理店、タージマハルエベレスト。コックとして働くカandelさんにお話を伺いました（写真左）。



ランチCセット。これにドリンクが付いて1150円！！

## ——日本に来る前はどんな仕事をしていたんですか？

カandelさん（以下略）：23歳くらいでドバイに行って働いてました。インド料理屋さんで。だからインド料理と、トルコ料理も少し作れます。コックは日本が初めてじゃないですよ。7年くらい働いて、そのあとネパールに1年戻って、31歳で日本に来ました。

向こうはアラビア語を話すので、アラビア語とあとヒンディー語も勉強しました。なんかパキスタンとかウルドゥー語とも似てるから、ちょっと勉強したら色々わかるようになったね。

## ——ドバイには家族全員で？カandelさんおひとりでドバイに行ってたんですか？

そう、ひとり。7年。長かった。その時はケータイとかもないから手紙。携帯を持つのは難しかったから。家族とは手紙のやり取りを2~3年くらいして、その

あと固定電話で2週間に1回くらいは電話できるようになりました。

## ——ネパールから日本に来るきっかけは何でしたか？

ネパールに帰ってきて、奥さんのお姉さんが日本で生活してるから。私も行くことになりました。こっち来て2年間はひとりだったけど、今は家族を呼び寄せて一緒に暮らしています。家族と一緒に暮らすのは難しいと思っていたけれど、日本では家族で暮らしていけるかなと思って働いていました。ここだったら奥さんと子どもも働けるし、一緒に暮らしたいからね。ドバイに比べたら安全って思います。

## ——日本語の勉強はこっちに来てからですか？

日本語はネパールにいるときに半年だけ勉強して、こっちに来てからはやってなかったね。日本語むずかしかった。でも京都で働いてた時に、モロチカコさんというバイトで60歳くらいの日本人の女性がいる、その人に休憩時間とか色々教えてもらった。

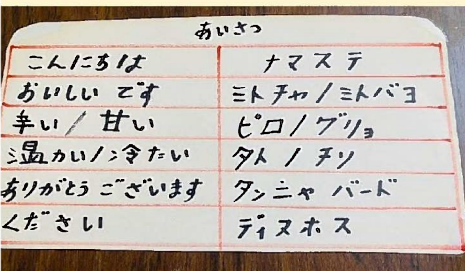
今でも難しいこととかわからないことがあったら電話して聞くし、遠いのにお店にも来てくれる。なんか、交通費とか全部渡しちゃう。

## ——それは嬉しいお客さんですね。いつもカandelさんが厨房に立たれていますが、ご自宅でも料理はされるんですか？

しないしない。お店だけ。料理するのは仕事ですから。朝9時に出勤して、11時から15時はランチ、2時間休憩して22時までディナー。コロナで今は大変だけど、、、お客さんも半分くらいだからね。でもテイクアウトもやってるし、みんな協力してくれるから大丈夫。

## ——これ（左の写真）、すごく気になってたんですけど、カandelさんが書かれたんですか？

そう、最初はバイトの人に教えようと思って書いた。そしたらお客さんがミトチャ、ミトチャ（おいしい）って言うってくれるからね。今もそのまま店内に貼ってる。



カandelさんおすすめタージマハルスベシャルランチ(1550円)。カレーは8種類から、ナンは9種類から好きなものを選ぶことができる。カレーとナンにサラダ、スープ、キチンティッカ、マライティッカ、シシカバブ、デザートが付いてくる贅沢なセットだ。

店名：タージマハルエベレスト

住所：豊中市中桜塚2-20-10

電話番号：06-6846-1556

営業時間：11:00~15:00、17:00~22:30

定休日：不定休

アクセス：阪急岡町駅から徒歩6分

【あとがき】カandelさんのお話の中で何度も聞いた「むずかしい」という言葉がとても印象的でした。母国を離れて暮らすなかで生じる「むずかしさ」と、それでも「今の生活が一番いい」とこたえてくれたのは、家族との生活や関わる人との出会いがあったからなのかもしれません。

お忙しいなかインタビューにお答えいただいたカandelさん、ありがとうございました！！（取材：三木、トーマス）





世界中で蔓延する新型コロナウイルス。私たちの様々な日常や前提を変えましたが、在住外国人が受けた影響の一つ、移動の制限について今回は書いていきます。

Aさんは、二人の子どものうちの一人と一緒に、数年前に来日しました。当時もう一人を連れてくるのが、様々な事情で叶いませんでした。できるだけすぐにもう一人の子どもの呼び寄せたいと思ってきましたが、経済的に苦しく、また、頼りになる人がいない中で、幼児を育てることへの困難から、すぐに呼び寄せることができずに年月が経ちました。でも昨秋、ようやく目途がたち、呼び寄せの在留許可申請をしたのですが、低収入を理由に不許可となりました。ちなみに、この子どもは、日本国籍ではありませんが、父親は日本人なのです。新年度までに来日できるよう、Aさんはその後仕事を増やし、準備していました。ですがこの新型コロナウイルスの問題で、子どもの来日どころか、Aさんが一時帰国することもできなくなりました。子どもと離れて暮らさなければならない日々はさらに延びてしまい、いつ会うことができるのかもわからない状況になってしまいました。

Bさんは、年に一度以上は、高齢の母親に会いに母国に行っていました。重い持病がある母親からウェブ通話でこんなことを言われたそうです。「コロナウイルスにかかってしまったら、私は死ぬだろう。急に連絡できなくなるかもしれないから、その前にちゃんと言っておきたい。私はあなたを愛しているよ。」そうでなくても高齢の母を一人で置いて、自分は遠い外国にいることを苦しく感じていたBさんは、お母さんと話した後、号泣したそうです。Bさんはお母さんに会いに帰国することはできます。ですが、現在は入国制限が行われているため、帰国したら、日本に再入国することができません。Bさんは日本で家族と暮らしているのに、自分が戻ることが、すなわち、自分の今の家族と離れ離れになってしまうことになるのです。

Cさんは、重い病気になりました。命に別状はなかったのですが、生活にはさまざまな問題が生じ、子どもの養育にも支障がでました。ですが、療養と生活サポートを受けるために帰国することは、症状的に、また母国側の事情からも不可能でした。コロナウイルスがなければ、親きょうだいなどに来てもらうことができたでしょうし、近くの友だちに助けってもらうこともできたのですが、どれもできない状況になってしまいました。Cさんの困難と不安は、とても大きいものでした。

コロナウイルスによって起こった不自由と痛みの中で、攻撃的な出来事がニュースで取り上げられています。でも、痛みと不自由の中でこそ、他者への共感、ともにこの状況を生きる私たちのつながりを感じることがあってほしいと願います。今回このような相談例を取り上げたのも、災難を同じように生きている中での「つながり」を感じたい思いからでした。哀しみも苦しみも、それを知っていてくれる誰かがいることは、とても大きいのです。最後まで読んでくださってありがとうございました。

（以上は8月10日現在の状況に基づくものです。）

## 【告知】 2019年度の年次報告書ができました！

当協会は、とよなか国際交流協会・センター事業のとりにくみや豊中市における外国人の概況についてまとめた冊子「こくりゅう@home」を2015年度より毎年発行しています。

30近くの事業に関わるボランティアやスタッフによる活動報告と来年度の抱負を、たくさんの写真と共に掲載しています。毎年、協会は事業報告（詳細版）を当協会ウェブサイトでも公表していますが、事業に直接参加したことがない方にも活動の様子や現場のいきいきとした雰囲気を感じていただけるように、概要版としてフルカラーの冊子を作成しています。

センターをはじめとする市内各公共施設で手に取っていただくことができますので、ぜひ一度ご覧ください。ご関心のある事業については、ぜひお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。（事務局次長・山本愛）



フルカラー・24頁（無料）

## 【告知】 フェスタ実行委員会による館内ギャラリー展示

例年9月上旬に開催している「とよなか国際交流フェスタ」は今年度中止になりましたが、フェスタ実行委員会の希望団体によるギャラリー展示を行います。新型コロナウイルスの影響により、人々が一同に集まるイベントの開催は難しくなりましたが、当センターの登録団体や地域の福祉団体がこれまでやってきたこと、今取り組んでいることについて、各団体が作成したポスターを展示します。フェスタ当日の様子だけでなく、各団体の普段の活動の様子や団体について知るきっかけになればと思います。

ぜひお立ち寄りください。

日時：2020年9月1日(火)～10月31日(土)

場所：館内北側ギャラリー

内容：各団体・活動内容の紹介

参加費：無料

申込：不要



# 2020 9月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。  
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31	01 相談 こんばす	02 休館日	03 木ひる 相談	04 相談 こんばす	05 相談	06 貸室利用抽選会 目的利用：～12月末まで 一般利用：～11月末まで
07 もつと 相談	08 相談 こんばす	09 休館日	10 木ひる 相談	11 相談 こんばす	12 相談	13 がちゃ サンプル 若者
14 もつと 相談	15 相談 こんばす	16 休館日	17 木ひる 相談	18 相談 こんばす	19 つどい 相談	20 がちゃ サンプル 若者
21 敬老の日	22 秋分の日	23 休館日	24 木ひる 相談	25 相談 こんばす	26 相談	27 がちゃ サンプル 若者
28 もつと 相談	29 相談 こんばす	30 休館日	01	02	03	04

## \*センターが主催する定例事業\*

曜日	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象	10:00～12:00
	外国人のための多言語相談	11:00～16:00
曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施)	10:00～12:00
	外国人のための多言語相談	11:00～16:00
	学習日本語こんばす	17:00～19:00
曜日	とよなかにほんご・木ひる	13:30～15:20
	多文化こども保育にこにこ	13:30～15:30
	千里にほんご(千里文化センターコラボで実施)	10:00～11:30
	外国人のための多言語相談	11:00～16:00
曜日	とよなかにほんご・金あさ	10:30～12:00
	多文化こども保育にこにこ	10:30～12:00
	外国人のための多言語相談	11:00～16:00
	学習日本語こんばす	17:00～19:00
曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ	9:30～11:30
	外国人のための多言語相談	13:00～16:00
曜日	にちようがちゃがちゃだん	10:00～12:00
	こども母語※第2A日曜日のみ	10:00～12:00
	学習支援サンプレイス	13:00～15:00
	若者のたまりば	17:00～20:00

## 今月のピックアップ

### 第6回 とよなか国際交流フェスタ 中止のお知らせ

今年9月に開催予定だった「第6回とよなか国際交流フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、今年度の開催中止を決定いたしました。

なお、今年度は実行委員会によるギャラリー展示を予定しております。詳しくは見開きページ  
右下の告知欄をご覧ください。



### とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゅうだより」第137号(2020年9月号)

発行元・問い合わせ：(公財)とよなか国際交流協会  
住所：〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F  
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間：9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375

E-Mail: atom.s@azaq.jp WEB: http://www.a-atom.s.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!



所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。